

平成22年度事業報告

# さいたま マッチングファンド

NEWS

ニュース

vol.2



目

● マッチングファンド事業とは..... 2

次

● 一般助成事業..... 3

● 平成22年度事業報告..... 4～5

● 団体希望助成事業..... 6～7

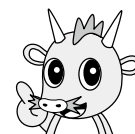
● マッチングファンド事業への寄附について..... 8

さいたま市市民活動支援室



## マッチングファンドとは？

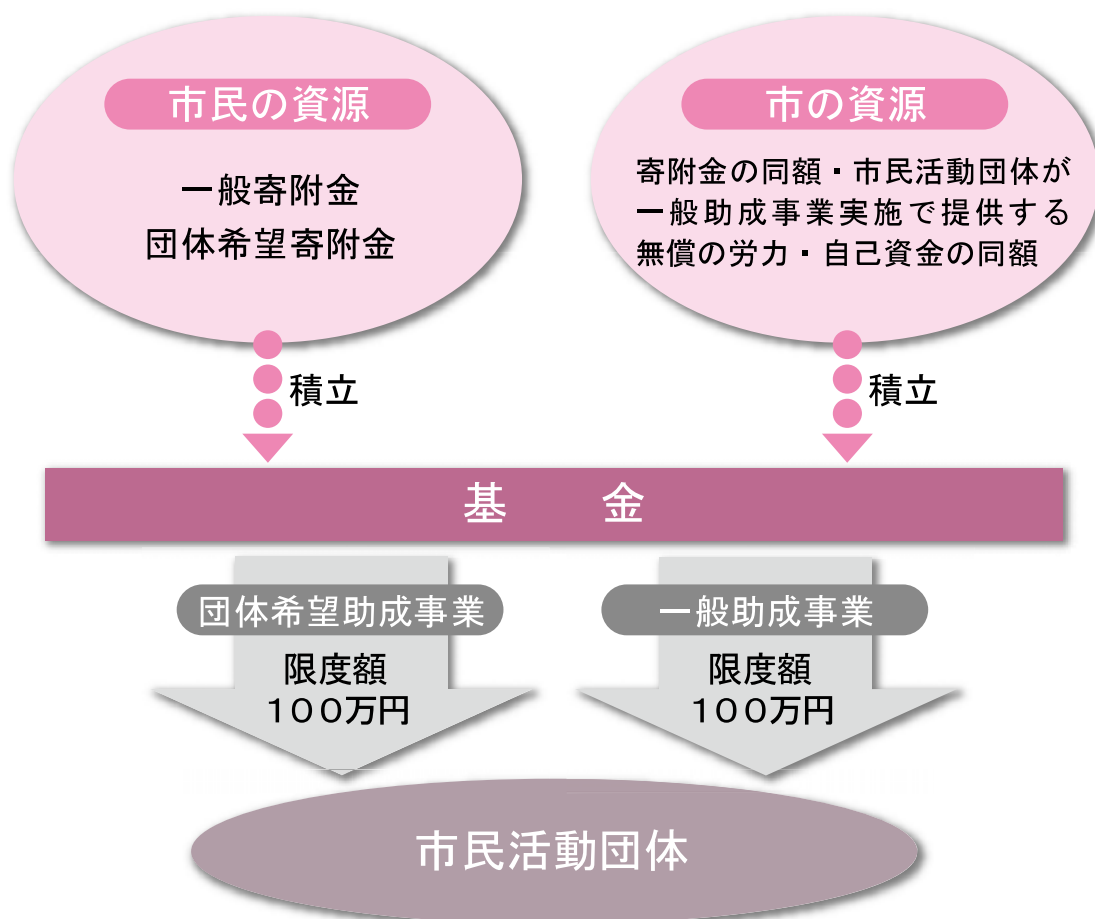
行政だけではなく、地域社会を構成する多様な市民が公共の担い手としてまちづくりに参加する「新しい公共」という考え方に立ち、市民活動及び協働を推進することにより活力のある地域社会の実現を進めるため、市民の皆さんが市民活動に参加・応援しやすくなる環境づくりの一環として「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」を創設しました。

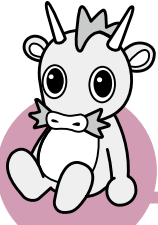


寄附には、一般助成寄附と団体希望寄附があり、助成事業も一般助成事業と団体希望助成事業の2種類あります。一般助成寄附は、さいたま市の市民活動全般を応援する寄附金です。この寄附金は、市からの積立金とあわせて、一般助成事業（3ページをご覧ください）に活用させていただきます。実施の際には、市民活動団体が提供する無償の労力を1人1時間500円で換算した額及び自己資金の同額の市の財源も基金に積み立て（市民の資源とのマッチング）、助成事業の原資とします。

団体希望寄附は、基金に登録している市民活動団体を希望して応援する寄附金です。この寄附金は、団体希望助成事業（6～7ページをご覧ください）に活用させていただきます。

### マッチングファンドのイメージ

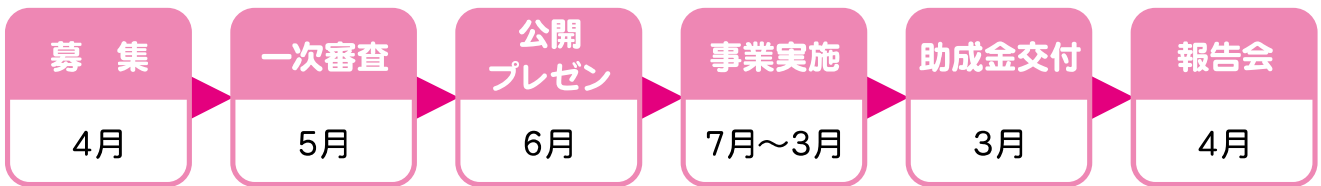




## 一般助成事業

市民活動団体から、市と協働して地域課題の解決のために、事業目的が一つの区にとどまらない公益的な事業で活力のあるまちづくりに貢献する事業を募集し、さいたま市市民活動推進委員会での審査を経て、市民が協働事業のために提供する自己資金・無償の労力・寄附に見合った金額を助成するものです。

### 事業の流れ



### 事業実績

平成22年度は4事業を実施しました。詳しくは、4・5ページをご覧ください。

平成23年度は4事業を実施する予定です。

#### ●地域観光活性化を主目的とするレンタサイクル事業

【特定非営利活動法人岩槻まちづくり市民協議会 × 観光政策課・岩槻区総務課観光経済室】  
岩槻駅前にレンタサイクルを配置することで、来訪者の誘致を行い、地域観光の活性化を目指す事業です。

#### ●さいたまパパ・スクール第2期～ パパが変わる15時間、ママには癒しの15時間！？

【さくらっこくらぶ × 子育て企画課】

主に父親を対象として、子育てを楽しむために必要な技や知識を学ぶ場を提供することで、パパ同士のネットワークを構築することを目的とする事業です。

#### ●青少年の居場所づくりとコミュニケーション力の育成

【特定非営利活動法人こころとまなびどっとこむ × 青少年育成課】

スポーツや遊びを通じて、青少年が社会や地域の人々と関わる機会をつくり、コミュニケーション力の育成を目的とする事業です。

#### ●見沼たんぼの自然観察及び調査

【特定非営利活動法人自然観察さいたまフレンド × 環境対策課・みどり推進課】

市民と共に自然観察会を組織し、自然環境調査を実施することで、見沼たんぼの素晴らしさを実感し、原風景を守り育てる仲間の輪を広げることを目的とする事業です。



## 平成22年度事業報告

【アシスト浦和21×浦和区保健センター】



### わくわく☆さいたま☆いきいき祭り ～心と体の健康フェスタ～



- 市民が健康の維持増進のために自らの心身の状態を知り、食生活を始めとする生活習慣の大切さを認識してもらうとともに、心と体の健康をテーマに協力し合えるネットワークづくりを目的として、健康測定、健康ミニ講座、展示、市民広場での演奏等を行いました。

参加人数 1,207名

助成金交付額 308,846円

市民活動団体と行政との協働で「心と体の健康フェスタ」を開催したことで、有資格者による指導相談が受けられ、市民の信頼度が高まり、期待や満足度が増しました。震災直後の一人暮らしを不安に思う相談者も多数来場し、事業実施の効果を実感しました。市民が健康維持増進のために自らの心身の状態を知り、健康について考える機会となり、市民活動団体・障害者団体・独立行政法人・行政・企業・地域の医療福祉関連団体による積極的な協力と市民ボランティアとの旺盛な連帯意識で、事業の目的を達成できました。市民が自分らしく生き生きと過ごすための情報提供ができ、平均寿命より健康寿命を延ばすことができるまちづくりの一環となったのではないかと考えます。

(アシスト浦和21)

【特定非営利活動法人子ども文化ステーション×子育て企画課】



### 子どもがつくるまち「ミニさいたま」 実施モデル事業



- 「遊びのまちミニ・ミュンヘン」をモデルにした、子どもがつくるまち「ミニさいたま」をプラザノース前市民広場にて実施しました。事前のまち会議で子どもスタッフによってつくられたまち「ミニさいたま」において、当日は約1,500名の子どもが市民となり、仕事をし、お給料をもらい、そのお金で買い物をするといった社会体験をすることで、自主性・創造性を育みました。

参加人数 1,434名

助成金交付額 1,000,000円

この「ミニさいたま」は、すべてが子どもたちの遊びでつくり、子どもの主体を大切に、子どもだけが市民になれるまちとして開催しました。この取り組みを通して、38名の子どもスタッフが、7回のまち会議に参加し、お店や仕事の準備を中心に2日間の子どものまちを作り上げたことは、一番の成果となりました。合わせて、1,579名（事前で締切り）の子どもたちから事前市民登録があり、元気にまちづくりに参加し、非常にニーズの高い事業となりました。

また、さいたま市との協働もお互いの役割を明確にして実施でき、今年度は、さいたま市誕生10周年記念事業「キッズなCity」の一環で、継続して開催されます。

(特定非営利活動法人子ども文化ステーション)

【特定非営利活動法人ファザーリングジャパン × 子育て企画課】



## さいたまパパ・スクール ～笑っているパパになろう!～



父親およびプレパパを対象とした、開校式と全5回の講座からなるさいたまパパ・スクールを開催しました。父親が子育ての担い手として家庭、地域で活躍することを目的として、料理などの育児スキルの向上を図るとともに、パパ友ネットワークづくりを推進しました。

参加人数 63名

助成金交付額 400,250円

父親の子育てを応援する「さいたまパパ・スクール」を開校しました。各区から育児熱心なパパがあつまり、ワークライフバランスや子育ての悩み、地域で活躍する秘訣やママとのパートナーシップを学び、語りあいました。最終回は「パパ料理講習」。お父さん達がハンバーグをつくりお米も鍋で炊いて、料理が出来あがった頃にママと子ども達を招いて食事会。どのテーブルも笑顔があふれ、パパを中心に家族の幸せな光景が広がりました。

今回は父親の育児支援NPOが運営しましたが、平成23年度はパパ・スクール卒業生が企画者となってマッチングファンド事業で開催されます。さいたまパパがますます輝きを放ち、家族を明るく、社会を元気にします。

(特定非営利活動法人ファザーリングジャパン)

【特定非営利活動法人環境ネットワークさいたま × 都市交通課】



## “さいたま市エコモビリティ” 普及啓発とネットワークづくり活動



市民が自動車の利用を抑え公共交通機関にシフトしていくための意識啓発を目的として、エコモビリティフォーラム、エコモビリティ学習会を開催しました。フォーラムでは、「環境を考えた車の使い方」をテーマとした基調講演と参加者との意見交換を行い、学習会では、マイカーから公共交通機関等への利用転換を図る事を目的として、ワークショップ型学習会を開催しました。

参加人数 116名

助成金交付額 417,664円

さいたま市における自動車からの二酸化炭素の排出量は、全体の約3割と高い数値になっており、温暖化への影響も懸念されます。このような中で市民が自動車の利用を抑え公共交通機関へシフトするためには、ハード整備と共に市民の理解を得ることが必要です。その普及啓発のためにイベントを開催しました。平日の就業後という事もあり、時間が十分に取れなかったという課題もありましたが、フォーラムではエコドライブやカーシェアリング等の車のかしこい使い方を理解することが出来ました。学習会では海外の交通政策・京都での実証実験の紹介等、具体的事例を紹介する事が出来、その後のワークショップでも活発な意見交換が行う事が出来ました。参加者にも交通体系や政策について自らのこととしての意識付けが出来たと思います。

(特定非営利活動法人環境ネットワークさいたま)



## 団体希望助成事業

団体希望助成事業は、団体希望寄附金が寄せられた基金の登録団体が、団体の活動趣旨に沿って、地域又は社会の課題解決のためにひとつの区の区域を超えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献する事業です。

市民や企業等から団体を希望して寄附をいただき、その寄附金を活用して実施する「団体希望助成事業」の対象となるためには、あらかじめ基金の登録団体となる必要があります。

### 登録制度の概要は次のとおりです

- ① 団体登録の申請は随時受け付け、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て登録が決定します。委員会による審査は年6回程度予定しています。
- ② 登録を決定した団体については、市のホームページ上で活動を紹介し、寄附を募集します。登録団体は市民や企業に対して自らの活動等を積極的に発信し寄附を募ります。
- ③ 登録団体の支援を希望する寄附があった場合、登録団体がその寄附を活用して行う公益的な事業に対して助成します。助成は4月と10月の年2回実施します。
- ④ 助成金は、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て、交付を決定します。寄附者の意向は尊重いたしますが、必ずしも団体の申請どおりに決定されとは限りません。また、寄附金の一部は市民活動全般に対する助成事業に活用されます。
- ⑤ 登録の有効期間は登録決定の通知の日から3年間です。引き続き登録を希望する場合には、改めて申請手続きを行っていただきます。

申請用紙のダウンロードや登録の要件等詳しくはこちら↓

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268733793260/index.html>

### ご寄附いただいた方のご紹介

#### 〔一般寄附分〕※申出書受付順

- 浦和商業開発 株式会社 様
- 株式会社 ムトーセーフ 浦和支店 様
- 株式会社 伊勢丹 浦和店 様
- 浦和総業 株式会社 様
- 埼玉土建一般労働組合さいたま北支部片柳分会 様
- さいたま市リサイクル女性会議浦和 様
- 中山道浦和宿・二七の市実行委員会 様
- 浦和駅東口市民広場もちつき大会実行委員会 様
- サポセンファンクラブ 様
- 匿名希望団体 2団体 ● 匿名希望 5名
- エコモビリティフォーラム設置募金箱分 ● 市民活動支援室設置募金箱分

総額656,792円のご寄附をいただきました。ご協力ありがとうございます。

#### 〔団体寄附分〕

- 株式会社 ユアーズ・コーポレーション (寄附先 ドリームアートさいたま)

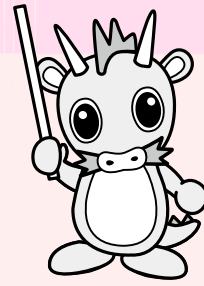


## 登録団体紹介

特定非営利活動法人 NPO福祉・医療用専門カツラ 支援センター	頭髪の脱毛した方々の、心の内面的閉塞感又外面的容姿に対し自信を自覚するよう、カツラの施術でサポートを行い、学校又は社会に復帰し社会貢献に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 みれっと	広く一般市民を対象として、主に食や環境に起因するアレルギー疾患の発症予防に関する相談対応及び普及・啓発を行い、さらには、子どもの保護者の仲間づくりを通じて保護者が抱える多様な社会問題等の解決に努め、もって公益の増進に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	地域の学習者に対し、生涯学習に必要な情報提供や学習要求を満たす学習内容を提供する教育活動に関する事業を行い、全ての学習行動に寄与する事を目的としています。
ファーム・インさぎやま	都市近郊農業活動に従事する婦人の立場から、都市住民との交流を通して、農業および農家生活の理解と関心を深めると同時に、会員相互の研鑽と心豊かに生き生きとした生活を楽しむことを目的としています。
特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま	まちづくりに関する様々な課題に取り組むために、建築、土木、都市計画、環境、産業経済等の専門的な立場から活動及び支援を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。
アシスト浦和21	誰もが生活の場である地域で自分らしくいきいきとした老後を過ごせるようなまちづくりを目指すことを目的としています。
北浦和総合型地域スポーツ・ レクリエーションクラブ 「ふれあいプレイランド」	スポーツ・レクリエーションの普及と振興を図り、青少年の健全な心身の育成に寄与するとともに、子どもから高齢者までの異世代の多様な交流を活性化し、あわせて会員の健康増進を図ることにより、人々の健康で楽しい地域の創造に寄与することを目的としています。
ドリームアートさいたま	主にさいたま地域で活動するアーティストや障がいを抱えるアーティストに対し、プロモーション活動や作品を発表する場づくりを支援し、芸術の振興を通じて地域の人々が共生しながら豊かに暮らせる社会の実現に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 地域伝統文化推進機構	日本古来の伝統文化を次世代に伝えることを目的としています。
こうぬま・水と緑を楽しむ会	高沼用水流域の市民参加のまちづくり・「河童の森」づくりを目的としています。
浦和ユースオーケストラ	オーケストラ活動の活性化と青少年育成を目的としています。
特定非営利活動法人 自然観察さいたまフレンド	自然保護につながる自然観察を活動の原点として、自然環境保全や環境教育の諸活動をつうじて、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与する事を目的としています。
このまちで暮らす会	住み慣れた我が家で暮らし続けるための生活サポートシステムを生活圏ごとにつくることを目的としています。
浦和日本語ボランティアグループ 「くすのき」	在留外国人の日本語学習を支援すること、それを通じて国際交流を深めることを目的としています。



# マッチングファンドへの 寄附募集中!!



さいたまマッチングファンドは、市民のみなさんが寄附を通して市民活動に参加したり、支援したりできる仕組みとして設置しています。住みよいまちづくりのために、寄附を通しての参加、応援をよろしくお願いいたします。

## 寄附の手続きは？

市民活動支援室までご連絡ください。寄附申出書をお渡しいたします。HPからもダウンロードできます↓

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268732557676/files/kifumousidesyo.xls>

納付書や口座振込みの他、現金でのご寄附も可能です。

## 税制上の優遇措置があります！

マッチングファンドへご寄附いただくと、税制上の優遇措置があります。

- 寄附者が個人の場合→住民税の寄附金税額控除および所得税の寄付金控除が受けられます。
- 寄附者が法人の場合→法人税額の算定上、全額損金算入できます。

※詳しくは、最寄の税務署または、住所地の市区町村にお問い合わせください。

## お礼を差し上げます☆

- 1万円以上5万円未満の寄附をされた場合→さいたま市PRキャラクター「ヌウ」の「ヌウぐるみストラップ（非売品仕様）」
- 5万円以上の寄附をされた場合→「ヌウぐるみ（非売品仕様）」を差し上げます。



### お問い合わせ先

さいたま市市民・スポーツ文化局市民生活部  
コミュニティ推進課市民活動支援室

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1  
TEL 048-813-6403 FAX 048-887-0164  
E-MAIL katsudo-shien@city.saitama.lg.jp